

科目名	脱臼理論							年度	2025
英語科目名	The dislocation general remarks							学期	前期
学科・学年	柔道整復科 2 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	有山敦士	教員の実務経験		有	実務経験の職種		柔道整復師(接骨院にて勤務経験あり)		
【科目の目的】 柔道整復師が施術で行う脱臼について顎関節・胸鎖関節・肩鎖関節・肩関節の脱臼における症状や合併症などの知識と整復及び固定の技術を習得する。									
【科目の概要】 部位別の具体的な外傷の成り立ちや施術方法について学びます。									
【到達目標】 柔道整復師として臨床現場で遭遇する上肢の脱臼を中心として学ぶ。外力の方向性から発生する脱臼の分類、同外力から他の外傷の合併及び鑑別、性別・年齢等における発生要因などを踏まえ理解する。また、弾発性固定肢位や症状からの脱臼と判断することを理解し、それぞれの脱臼における整復法の理解と整復法実技、また実施時の注意点を学び、臨床現場で実践しできる技術を獲得し、医療人としての資質を養うことを目的とする。									
【授業の注意点】 医療人としての資質をはぐくむため受講態度や私語などは厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めないと共に、公共交通機関の遅延等が予測される場合はそれに対応できるようにすること。1年生からの継続した内容が必要となるため、骨折・軟部組織損傷などの他教科も合わせた予習・復習が必要である。授業時数の4分の3以上出席しないものは定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	顎関節脱臼についてよく理解し、説明することができる。	顎関節脱臼についてよく理解している。	顎関節脱臼について理解している。	顎関節脱臼についてあまり理解していない。	顎関節脱臼について全く理解していない。				
到達目標 B	胸鎖関節脱臼についてよく理解し、説明することができる。	胸鎖関節脱臼についてよく理解している。	胸鎖関節脱臼について理解している。	胸鎖関節脱臼についてあまり理解していない。	胸鎖関節脱臼について全く理解していない。				
到達目標 C	肩鎖関節脱臼についてよく理解し、説明することができる。	肩鎖関節脱臼についてよく理解している。	肩鎖関節脱臼について理解している。	肩鎖関節脱臼についてあまり理解していない。	肩鎖関節脱臼について全く理解していない。				
到達目標 D	肩関節前方(烏口下)脱臼についてよく理解し、説明することができる。	肩関節前方(烏口下)脱臼についてよく理解している。	肩関節前方(烏口下)脱臼について理解している。	肩関節前方(烏口下)脱臼についてあまり理解していない。	肩関節前方(烏口下)脱臼について全く理解していない。				
到達目標 E	肩関節後方・下方脱臼についてよく理解し、説明することができる。	肩関節後方・下方脱臼についてよく理解している。	肩関節後方・下方脱臼について理解している。	肩関節後方・下方脱臼についてあまり理解していない。	肩関節後方・下方脱臼について全く理解していない。				
【教科書】 教科書（柔道整復理論-社団法人全国柔道整復学校協会監修-）に準拠する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 定期試験による評価									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

